まちの事業特集　第３弾

豊岡青年会議所創立６０周年特別事業として７月１１日（日）に全但バス但馬ドームをお借りし、「Ｔｏｙｏｏｋａ　Ｍｉｒａｉ　Ｍａｒｋｅｔ」というイベント開催に向けて事業構築を進めています。

この事業にご協力をいただける豊岡在住の２０～３０代の若者を募集し、２０名の方々にご協力いただけることとなりました。多くの若者達と一緒にできること大変嬉しく、豊岡に対しての愛着を持ち、メンバーとともに豊岡を盛り上げたい、楽しい事業を開催したいという想いが強くなっています。事業では、飲食店ブースやお子さんも楽しめるキッズパークなど、その他さまざまなジャンルで若者が活躍するお店に出店を依頼しております。

豊岡の魅力、輝かしい未来を広く感じていただけるような素晴らしい事業にできるよう、メンバー一同若者達とともに事業構築に取り組んでいきます。

（とよおかの未来創造委員会　中村　勇太）

４月１１日（日）　ＬＯＭ役員懇談会

１３：３０～　　於：ブルーリッジホテル

４月１１日は神鍋高原の地にてＬＯＭ役員懇談会が兵庫ブロック協議会主催のもと但馬４ＪＣ合同で開催されました。

懇談会では、質的価値についての勉強会が行われ、主体的な当事者として、各地域の実情に沿った独自の価値の創造をすることと、多くの人々を引き寄せる新たな魅力を生み出すことの重要性を再認識しました。ディスカッションでは、兵庫ブロック協議会と但馬4ＪＣそれぞれの議長委員長がお互いの事業計画に対して質疑応答することで、お互いの事業に対する想いや方向性を確認することができ、議長委員長のみならずＬＯＭメンバーの意識もさらに高められ、素晴らしい機会となりました。

間近に控える創立６０周年特別事業に向けこの度の気付きや学びを大いに活かしていきたいと思います。

（総務委員会　一ノ本　智毅）

おくやみ

５月１４日（金）太田義人ＯＢのご母堂がおｔくなりになりました。
５月１８日（火）浅田展弘ＯＢがおｔくなりになりました。
ご冥福をお祈り致します。

事業案内

▶６月第１例会

日　時　６月１１日（金）１８：３０～２１：３０
場　所　じばさんＴＡＪＩＭＡ２階第１交流センター
講演会　活きいきとした組織で在り続けるために
　　～一人ひとりの力を伝播させる～

編集後記

「巧遅は拙速に如かず（こうちはせっそくにしかず）」という諺がある。上手だが遅いよりも、下手でも速いほうが良い、という意味である。
インターネットが普及してからというもの、世の中の動きは格段に早くなった。現代の仕事に求められるものは、まずスピードである。正確性が大事なことは言うまでもないが、いくら正確であっても遅ければ、変化の速い現代社会で生き残ることは難しい。
豊岡市ではようやく高齢者を対象にしたワクチン接種が始まったところだが、市民全員に行き届くのはいつになることか。物事に柔軟に対応する力、変化する力、スピード感を感じるだろうか。
言うは易く行うは難しで、日本政府の対応に傍観しつつ、自分自身の仕事ぶりを省みる機会としたい。

（総務委員会）

一般社団法人豊岡青年会議所
公式WEBサイト
発行日：令和３年５月１９日
住　所：豊岡市幸町６番３５号
ＴＥＬ：０７９６－２２－４０４１
発　行　所：一般社団法人豊岡青年会議所
編集発行人：総　務　委　員　会
印　　刷：総　務　委　員　会
Facebookもチェック

JCI Junior Chamber International Japan
一般社団法人 豊岡青年会議所
No.６８０　２０２１年５月号

絆　青雲の志

～継承、創造、そして進化～

2021年度理事長スローガン

https://www.facebook.com/toyookajc
http://www.toyooka-jc.or.jp

４月９日（金）　４月第１例会

１８：３０～２１：１５

ホスト：創立６０周年特別事業実行部会
於：豊岡市民会館会館棟３階ギャラリー１・２

副理事長
大友　孝

４月第１例会内において、「創立６０周年の先に～地を踏み固め、真を見据え、高く翔けよ～」と題し、勉強会を開催致しました。５月１６日に創立６０周年記念式典を迎えるにあたり、今後の方向性をメンバー全員で確かめ合う機会と致しました。

勉強会内では３部構成として、まずは豊岡青年会議所のこれまでの歴史、先輩諸兄が行ってこられた活動を振り返るとともに学び、今後の活動に対してどのようにアプローチしていくべきなのか、ディスカッションを行いました。

次に、翌日４月１０日に調印式を控え、姉妹ＪＣ締結を結ぶ一般社団法人若狭青年会議所の皆様にオブザーバーとして参加をしていただき、今後の姉妹交流の在り方について共にディスカッションを行いました。

最後に、４月１９日に調印式を控える災害時協定についても知識を深め、今後対外に活動をアピールし発信し続けていくために私達がしたいことすべきことを大きな視点からディスカッションを行いました。

会員数が現在１４名と少なくなっている状況の中、メンバー一人ひとりの力が漏れなく必要であり、一丸となり進んで行かなければなりません。そして何よりＬＯＭの未来に対してメンバーが期待をもつことができ、それぞれが主役として自信とやりがいをもって活動していくことに繋がる大変貴重な機会となりました。

姉妹締結

４月１０日、一般社団法人若狭青年会議所（福井ブロック・新谷大輔理事長）と姉妹ＪＣ締結を行いました。調印式では、このご縁を取り持って頂いた一般社団法人加古川青年会議所原田哲理事長に立会人を務めて頂き、コロナ禍で参加メンバーを制限しての挙行ではありましたが、創立60周年に華を添える素晴らしい調印式となりました。

豊岡と若狭地域（福井県小浜市・高浜町・おおい町・若狭町）とは歴史的にも多くの縁があり、近年では、原子力災害時の広域避難先として、小浜市の一部地域が豊岡市を避難先とするなどの繋がりもあります。どちらも日本海側に面し、気候や風土、地域課題にも似た部分が多く、今後の交流によって互いの地域の発展に寄与できるものと考えております。

（専務理事　小森弘詞）

創立６０周年、誠におめでとうございます。

貴青年会議所のこれまでのご功績に敬意を表すとともに、今後のさらなるご繁栄を心よりお祈り致します。

この度一般社団法人豊岡青年会議所様と姉妹ＪＣを締結させていただく運びとなりました。一般社団法人若狭青年会議所について少しだけ紹介をさせて頂きたいと思います。

我々若狭青年会議所は１９７１年に全国で４９１番目のＬＯＭとして誕生し昨年５０周年を迎えることが出来ました。「若狭にヒカリを」をスローガンに北陸新幹線小浜ルートを必ず実現させるべく数名の有志によって広がった繋がりは今もなお消えずに受け継がれ２０１８年に正式に与党委員会で決定を頂き今まさに本格的に実現にむけて地域を挙げて運動を展開しています。現在は２６名の会員と共に「無形」を掲げ活動をさせて頂いております。

これからの末永いお付き合いをお願い申し上げ紹介に代えさせて頂きます。

若狭青年会議所
第５１代理事長
新谷　大輔

若狭青年会議所
組織改革委員会委員長
中嶋　正光

まず始めに、ＪＣＩ豊岡関係者の皆様には我々を温かく迎えて頂き、また多大なるご尽力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

この場をお借りしまして、今回の経緯をご説明させていただきます。先ず以て、ＪＣＩ若狭には昨年度まで姉妹ＪＣ（友好ＬＯＭ）はありませんでした。私が考える理想の姉妹ＪＣとは、両ＬＯＭに所属している全会員がお互いに刺激し合い、持続可能である関係性です。そこで距離的な観点やコウノトリ・北前船等の共通点を持ちつつも、近畿と北陸という違う文化圏であるＪＣＩ豊岡様にお願させて頂き、晴れて４月１０日に姉妹ＪＣ締結に調印させて頂きました。

これから先、家族（姉妹）のように密な関係性を築き、より一層の強い絆を結び、両ＬＯＭの益々の成長と、両地域の発展にこの繋がりが強く関係してくれることを願っています。今後とも宜しくお願い致します。

災害時における相互協力に関する協定締結式

第６１代理事長
池垣　睦生

この度、我々一般社団法人豊岡青年会議所と豊岡商工会議所青年部、豊岡市商工会青年部、一般社団法人豊岡市社会福祉協議会の四者により、「災害時における相互協力に関する協定」を締結しました。これは、豊岡市において大規模災害が発生した際に、社会福祉協議会が市の委託を受けて開設する「災害ボランティアセンター」の運営に市内の3つの青年団体が協力するという協定になります。

平時から連携を図り、有事の際に他団体と協力して普及復興活動に対する備えをしておくことは市民の安心・安全な生活へと結びつきます。

日本各地でも未曾有の災害が頻発され、いつ我々の目の前に訪れるかわかりません。行政サービスに依存するのではなく、民間レベルで声を上げ、一人でも多くの仲間と手を携え、今我々にできることを行動として示して参りたいと思います。

また、新たなパートナーシップを組むことは青年会議所活動においても運動の波及へとつながり「明るい豊かな豊岡の実現」へと大きく寄与できることと確信しております。

今回の協定に際して、共感いただきご協力賜りました皆様方に心より厚く御礼申し上げます。今後とも何卒宜しくお願い致します。

この度、貴会が中心となり豊岡商工会議所青年部、豊岡市商工会青年部の３者と社会福祉協議会の間で「災害時相互協力協定」の締結が出来ましたこと、心から感謝申し上げます。

豊岡市を襲った台風２３号から１７年目にあたるこの時期に締結がなされたこの協定は、災害意識の向上を図る上で絶好の機会となりました。

今後は、協定に基づき、災害ボランティアセンターの運営支援、支援物資の調達・配布等、災害時に円滑に運営できるよう研修会や訓練を行ってまいります。

皆様方のサポートにより、ボランティアの皆様と被災者の支援要請のマッチングが図られ、豊岡市民にとって大きな力となることを期待しています。

（社会福祉法人豊岡市社会福祉協議会　理事長　中川　茂）

この度、一般社団法人豊岡青年会議所様よりお声掛けを頂き、四者による災害時相互協力という素晴らしい協定に調印することができました。

いつどこで起こるか分からない災害に対して、平時から備えておくことは重要です。今回、「災害に強いまち、豊岡」を目指して青年団体が団結できたことは大変有意義であり、豊岡を考え、活動する好機を頂戴できましたことに感謝を申し上げます。

今後も、この協定が形だけのものにならないように、メンバーとともに活動して参りたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

（豊岡商工会議所青年部　会長　沖野　公洋）

池垣理事長より災害時協定のお話を頂いたとき、「やりましょう」と思わず即答してしまったことを今でもはっきりと覚えています。その後、役員会で協議を行い、賛同を得た上で締結する運びとなりましたが、自分の立場を忘れてしまうほど「実現させたい」と思えるご提案でした。

この度の協定締結は、非常時のみならず平時にも豊岡市の青年団体同士が強い絆で結ばれるきっかけになると信じています。このような機会を与えてくださった豊岡青年会議所の皆様には心より感謝を申し上げます。そして、今まで以上に一丸となり、豊岡市の地域発展のため活動をしていきましょう！！

（豊岡市商工会青年部　部長　柴田　良馬）